

## H28年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

### 1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市介護老人保健施設 やすらぎの杜 優楽				
所在地	生駒市小瀬町324番地2				
指定管理者名	特定医療法人仁悠会	指定期間	開始日	平成 23 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	平成 33 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 6 年目		
設置目的	要介護者等について、日常生活の自立を支援し、又は居宅における生活への復帰を促進するため、介護保険法に規定する介護老人保健施設を設置する。				
主な実施事業等	介護保険法に規程する、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、介護保健施設サービス、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所療養介護、訪問リハビリテーション				

### 2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
入所・短期	人	85人/日	90.1人/日	+3.8人/日	理学療法士増員によるリハビリ体制強化
通所リハビリテーション	人	37.5人/日	39.2人/日	+0.3人/日	
短時間通所リハビリテーション	人	8人/日	9.8人/日	-0.4人/日	

### 3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	595,620,000	613,539,688	597,735,618
指定管理料				
利用料金収入	C	595,000,000	612,770,440	596,908,071
自主事業収入		500,000	473,328	594,267
その他		120,000	295,920	233,280
支出計	B	552,546,000	564,593,409	552,899,696
指定事業費		552,546,000	564,593,409	552,899,696
うち人件費	D	330,000,000	329,174,131	315,675,358
うち再委託料	E	65,000,000	62,133,409	59,149,453
自主事業費				
事業収支	A-B	43,074,000	48,946,279	44,835,922
利用料金比率	C/A	0.999	0.999	0.999
人件費比率	D/B	0.597	0.583	0.571
再委託費比率	E/B	0.118	0.110	0.107
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

### 4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート	意見箱の設置	相談窓口の設置	等
実施結果	意見内容等		対応実績等			
	施設の入所のレクリエーション(夏祭り)に、ノンアルコールビールを施設として初めて提供した時のアンケートに「飲めてよかった。来年もしてほしい」や「もう一杯飲みたい。来年もしてほしい」等の意見が多数寄せられた。		昨年の夏祭りに行われた際に寄せられた意見を基に、今年初めて提供しましたが、予想以上の好反響でした。これからも、お寄せいただいた意見を参考に、サービスの向上に努めていきます。			

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	
	前年に引き続き、個々の利用者の状態に応じた、多職種によるチームケアを行い、在宅復帰率53.4%と非常に高い実績を達成しました。今後も在宅強化型介護老人保健施設として、介護老人保健施設の重要な機能である「在宅復帰施設」としての役割を果たしていきます。
市の評価	
	在宅復帰強化型介護老人保健施設として、在宅復帰の役割を果たしている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	
	公施設としての公共性、公平性の役割を十分に認識し、施設利用について平等に行われるよう、適正な管理・運営に努めています。また、入退所の判定等、真に支援が必要とする高齢者とその家族に対して平等に行われるよう、判定委員会を組織し、公平さを高めるようにしています。
市の評価	
	入退所の判定等においては、判定委員会を組織するなど、公平で適切な運用が引き続き行われている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	
	年2回の利用者アンケート、食事嗜好調査の実施や2箇所に意見箱を設置し、利用者の意見を汲み取り、結果の分析や評価を行い改善策を実施しています。また、苦情等については、相談窓口を設置し、迅速な対応に努めています。※28年度のアンケートで、デイサービスの午前入浴している御利用者様（約30名）の内、23名が「午後からの時間が充実して使える」「お湯がきれいである」「朝の入浴は気持ちいい」等の理由から、今後も午前入浴をしてみたいと回答されました。
市の評価	
	食事嗜好調査を含む年3回のアンケート調査と、施設内2か所に設置した意見箱を活用し、利用者の意見把握を継続して積極的に進めており、利用者満足度も高い。苦情等についても、相談窓口を設置し、迅速かつ丁寧に対応している。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	業務委託費の適正化などにより光熱費を抑える努力を行っています。効果の一例として、電気代等の契約内容の見直しや職員のコスト意識の向上を図った結果、1年間の光熱費は約130万円の節約となりました。
市の評価	
	前年度に、増床による利用者数の増加等に伴う経費増があったが、今年度は光熱費を節約できたとのことで、今後も経費の削減に努められたい。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	
	昨年以上にリハビリテーションの提供体制の強化等により、利用者ニーズの幅を広げ、利用者の増加を図るよう努めた結果、前年比で入所系利用者数は4%の増加となりました。
市の評価	
	事業収支が向上しており、安定した健全な運営がなされている。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	
	市民向けの「認知症サポーター養成講座」の開催や、小学校や中学校からの社会実習の受け入れを行うなど、地域との有機的な連携や双方向の関係づくりを行っています。また、施設が提供するサービスの質の向上を常に心がけています。
市の評価	
	職員の研修受講によるスキルアップを目指し取り組みを進めている。広報誌の発行などで広く施設の周知を図っている。職員の離職率は業界平均よりも遙かに低いとのことであり、職員募集時にアピールすることにも努められたい。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	
	これまでに、市民向けの公開講座の開催、通所リハビリテーションに高齢者向けリハビリマシンの使用、介護予防のため新たなプログラムの導入を実施し、多様な要望に応えるようにしました。また、施設入所者の室料を、生駒市民の方に限り低減させていただく対応を、継続しています。
市の評価	
	デイサービスの日曜実施を検討するなど、利用者の増加に努めている。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	
	消防訓練の実施や火災避難マニュアルの策定をしています。また、事故対策委員会と感染対策委員会を設置し、事故防止マニュアルや感染防止マニュアルの整備を行い、事故の発生防止及び事故発生時の対応手順等が実際に機能するように努めています。
市の評価	
	防災計画、災害マニュアルの整備、消防訓練のほか、夜間を想定した避難訓練も実施されていた。事故発生時に対応するための緊急連絡網や連絡体制整備について、さらに職員に周知されたい。

事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）

指定管理者による自己評価

高齢者ニーズに適応したサービスの提供を行うことで、利用率の維持向上を図り、比較的安定した事業が行うことができています。今後も、医療的必要度の高い利用者の受け入れ等も積極的に行い、安定した事業の継続に努めます。

市の評価

利用率の向上、事業収支の増加を目指し、今後も引き続き安定的に事業が継続できるよう努められたい。

6 指定管理者の財務の状況

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
資産	7,563,496,497	7,118,857,952	6,833,277,184
流動資産	4,330,181,589	3,767,219,412	3,356,080,364
固定資産	3,233,314,908	3,351,638,540	3,477,196,820
負債	2,587,095,100	2,688,214,941	3,037,281,055
流動負債	399,619,041	344,610,124	356,284,958
固定負債	2,187,476,059	2,343,604,817	2,680,996,097
純資産	4,976,401,397	4,430,643,011	3,795,996,129
資本金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
売上高	4,258,644,129	4,316,372,962	4,313,183,801
経常利益	715,690,786	818,275,529	780,190,921

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成28年度	平成27年度	平成26年度
自己資本比率 純資産/資産×100	65.8%	62.2%	55.6%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	52.0%	60.7%	80.0%
固定比率 固定資産/純資産×100	65.0%	75.6%	91.6%
流動比率 流動資産/流動負債×100	1083.6%	1093.2%	942.0%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	45.1%	49.5%	53.7%
総資産回転率 売上高/資産×100	56.3%	60.6%	63.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	9.5%	11.5%	11.4%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価

多職種によるチームケアを実施し、在宅復帰を重視した運営を行います。今後も医療必要度の高い入所者の受入や重度の認知症高齢者の積極的に行うなど、多機能性を持った介護老人保健施設として取り組んでいきたいと思ひます。

市の評価

利用者とその家族のニーズを把握し、効率的な運営に努めていただき、利用者数の増や高い在宅復帰率、また安定した収支状況など、優れた結果となっています。今後も引き続き適切な運営に取り組んでください。県内で数少ない在宅復帰強化型施設であることを強みとして、利用状況の更なる向上を計れるよう努めてください。